

- 1) 藤吉康志、藤原忠誠、梅原章二：ドップラーライダーで検出した、雲底部に形成される様々な擾乱（2010年2月10日、航空気象研究会）
- 2) 藤吉康志、上庄拓哉、川島正行：Dual Doppler radar observation of thick cloud bands developed along the Hokkaido coast in the Sea of Okhotsk（2010年2月22日、第25回国際シンポジウム オホーツク SEA&SEA ICE）
- 3) 大島慶一郎：両極域における海洋－海氷変動と温暖化（2010年3月1日、国際極年2007-2008シンポジウム、日本学術会議）
- 4) 阿部祥子,中村知裕：アリューシャン列島における潮汐混合の数値シミュレーション（2010年3月3日、環オホーツク地域における気候変動・環境変動のモデリングと予測可能性に関するワークショップ（III））
- 5) 古関俊也,中村知裕：下層雲がオホーツク海高気圧の形成・維持過程に与える影（2010年3月4日、環オホーツク地域における気候変動・環境変動のモデリングと予測可能性に関するワークショップ（III））
- 6) 中村知裕,古関俊也：オホーツク海高気圧と下層雲のシミュレーション（2010年3月11日、第8回HSSワークショップ第1回GFRGワークショップ合同会議）
- 7) 大島和裕,立花義裕,小木雅世,大西健夫,岩本勉之,本田明治：大気再解析データを用いたオホーツク海の淡水収支とその年々変動（2010年3月15日、環オホーツク地域における気候変動・環境変動のモデリングと予測可能性に関するワークショップ（III））
- 8) 谷本陽一,兼成智久,時長宏樹,謝尚平：黒潮上における海面気圧場の極小域（2010年3月15日、日本海洋学会2010年度春季大会）
- 9) 大島和裕,谷本陽一：CMIP3マルチ気候モデルにおける北太平洋の海面水温場に見られる10年規模変動と温暖化トレンドの空間パターン（2010年3月20日、環境省推進費s-5ミーティング）
- 10) 久保川厚：密度構造と遠方場での海流形成—亜熱帯反流のようなものの作り方（2010年3月26日、日本海洋学会春季大会シンポジウム）
- 11) 中村知裕,磯田豊,三寺史夫,高木省吾,長澤真樹,阿部祥子：日周潮流により生成された大振幅風下波とその碎波の直接観測（2010年3月26日、2010年度日本海洋学会春季大会）
- 12) 阿部祥子,中村知裕：アリューシャン列島域における潮流による鉛直混合の数値実験（2010年3月26日、2010年度日本海洋学会春季大会）
- 13) 上原裕樹,A. Kruts,Y. Volkov,中村知裕,西岡純,小椋恒夫,三寺史夫：オホーツク海における高密度陸棚水の流量評価—FERHRI収集資料を用いて—（2010年3月26日、2010年度日本海洋学会春季大会）
- 14) 西田芳則・田中伊織・深町康・大島慶一郎：枝幸沖水温の十数日変動（2010年3月27日、日本海洋学会春季大会）
- 15) 大島慶一郎,深町康,青木茂,清水大輔,田村岳史,若土正暁,北出裕二郎,平野大

- 輔, 牛尾収輝, 橋田元, 吉川久幸, 中岡慎一郎: 新たに発見された南極底層水とそれに関わる海氷生産の直接観測—ケープダンレープロジェクト— (2010年3月29日、日本海洋学会春季大会)
- 16) 深町康, 大島慶一郎, 青木茂, 北出裕二郎, 田村岳史, 若土正暁: 係留観測による南極海ケープダンレー沖における南極底層水について (2010年3月29日、日本海洋学会春季大会)
 - 17) 北出裕二郎, 平野大輔, 大島慶一郎, 深町康: ケープダンレー沖で観測された南極底層水の特性と分布 (2010年3月29日、日本海洋学会春季大会)
 - 18) 橋田元, 中岡慎一郎, 吉川久幸, 大島慶一郎, 中澤高清, 青木周司, 石丸隆, 小達恒夫, 福地光男: 東南極ケープダンレー沖における南極底層水形成に関わる溶存無機炭酸の特徴的な分布について (2010年3月29日、日本海洋学会春季大会)
 - 19) 宮野なつみ, 田村岳史, 二橋創平, 大島慶一郎: 南極ケープダンレーポリニヤにおける海氷生産量の見積り (2010年3月29日、日本海洋学会春季大会)
 - 20) 嶋田啓資, 青木茂, 大島慶一郎: オーストラリア—南極海盆におけるアデリーランド底層水の低塩分化・低密度化 (2010年3月29日、日本海洋学会春季大会)
 - 21) 深町康, 大島慶一郎, 青木茂, 北出裕二郎, 田村岳史, 若土正暁: 係留観測による南極海ケープダンレー沖における南極底層水について (2010年3月29日、日本海洋学会春季大会)
 - 22) 大島慶一郎, 深町康, 青木茂, 清水大輔, 田村岳史, 若土正暁, 北出裕二郎, 平野大輔, 牛尾収輝, 橋田元, 吉川久幸, 中岡慎一郎: 新たに発見された南極底層水とそれに関わる海氷生産の直接観測—ケープダンレープロジェクト— (2010年3月29日、日本海洋学会春季大会)
 - 23) 大島慶一郎, 中野渡拓哉, Ricer, S. C., 若土正暁: オホーツク海・海氷域でのフロート観測 (2010年3月30日、日本海洋学会春季大会)
 - 24) 藤吉康志, 上庄拓也, 川島正行: オホーツク海沿岸帯状雲の成因と構造 (2010年5月22日、第33回メソ気象研究会)
 - 25) 稲飯洋一, 長谷部文雄, 藤原正智, 塩谷雅人, 西憲敬, 荻野慎也, Voemel H., 岩崎杉紀, 柴田隆: Cold Trap Dehydration in the Tropical Tropopause Layer Estimated from the Water Vapor Match (2010年5月23日、日本地球惑星科学連合2010年大会)
 - 26) 鈴木順子, 藤原正智, 濱田篤, 米山邦夫, 稲飯洋一, 城岡竜一, 長谷部文雄: Cloud-top-height variability associated with equatorial Kelvin waves in the tropical tropopause layer (2010年5月23日、日本地球惑星科学連合2010年大会)
 - 27) 荻野慎也, 藤原正智, 長谷部文雄, 稲飯洋一, 柴田隆, 岩崎杉紀, 塩谷雅人: Variations of minor constituents in the tropo-stratosphere studied with multi-station balloon and lidar observations (2010年5月23日、日本地球惑星科学連合2010年大会)

- 28) 柴田隆, 長谷部文雄, 稲飯洋一, 藤原正智, 塩谷雅人: Simultaneous observations of cirrus clouds and frostpoint by lidar and CU-CFH in upper tropical troposphere over Indonesia (2010年5月23日、日本地球惑星科学連合2010年大会)
- 29) 大佐賀南・山崎孝治: チベット高原における融雪時期の変動が東アジアの6月の大気場に及ぼす影響 (2010年5月23日、日本気象学会春季大会)
- 30) 岩本勉之, 大島慶一郎, 二橋 創平, 田村岳史: AMSR-E 89 GHz を用いた北極海の高分解能薄氷厚分布の見積もり (2010年5月23日、日本気象学会春季大会)
- 31) 坂崎貴俊・藤原正智: WINDAS で明らかになった日本上空下部対流圏の風の日変動 (2010年5月26日、日本気象学会2010年度春季大会)
- 32) 藤吉康志: 長崎市池島における風と波と鳥の観測(WINPOD-L) (その1) - 観測概要と途中経過 - (2010年5月26日、日本気象学会春季大会)
- 33) 吉田康平・山崎孝治: 2009年1月の成層圏突然昇温期における熱帯対流圏界層の気温変動要因 (2010年5月26日、日本気象学会春季大会)
- 34) 久保川陽呂鎮・藤原正智・那須野智江・佐藤正樹: 全球・非静力学大気モデル NICAM の2006年12月MJO実験データを用いた対流圏界面領域の解析 (2010年5月27日、日本地球惑星科学連合2010年大会)
- 35) 川島正行, 藤吉康志, 阿部義子, 森 修一, 櫻井南海子, 山中大学: HARIMAU2006期間中にスマトラ島で観測された対流システムに伴う突風現象 (2010年5月28日、日本地球惑星科学連合2010年大会)
- 36) 深町康, 大島慶一郎, 江淵直人, 坂東忠男, 小野数也, 佐野稔: 2006年から2008年にかけての宗谷海峡における流量 (2010年7月12日、研究集会「宗谷暖流を始めとした対馬暖流系の変動メカニズム」)
- 37) 小野純, 大島慶一郎, 内本圭亮, 三寺史夫, 山口一: オホーツク海における三次元・高解像度モデルを用いた流出油の漂流・拡散シミュレーション (2010年7月12日、研究集会「宗谷暖流を始めとした対馬暖流系の変動メカニズム」)
- 38) 大島和裕, 谷本陽一: CMIP3 マルチ気候モデルにおける環太平洋域の内部変動と温暖化トレンドの比較 (2010年7月、環境省推進費 S-5 テーマ2 2010年度第1回テーマ会合)
- 39) 中村知裕: 環オホーツク圏を中心とした大気・海洋シミュレーション (2010年9月1日、学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点 (JHPCN) 第1回シンポジウム)
- 40) 三寺史夫: 宗谷暖流の物理 (2010年9月6日、2010年度日本海洋学会秋季大会, 東京農業大学 オホーツクキャンパス)
- 41) 青木 茂: 南大洋発のブレイクスルー (2010年9月6日、日本海洋学会秋季大会)
- 42) 中野渡拓也, 三寺史夫, 中村知裕, 内本圭亮, 大島慶一郎: 中解像度海洋・海氷結合モデルによる北太平洋中層のシミュレーション (2010年9月7日、2010年度日本海洋学会秋季大会)

- 43) 谷口央・平譚享・青木茂・笹井義一・佐々木英治：衛星データと海洋大循環モデル(OFES)データを用いた南極周極流域における温暖化メカニズムの解明 (2010年9月7日、日本海洋学会秋季大会)
- 44) 中村知裕, 豊田隆寛, 石川洋一, 淡路敏之, 三寺史夫：西岸境界における海水の流入流出が風成循環に与える影響－オホーツク海と千島列島を念頭において－ (2010年9月8日、2010年度日本海洋学会秋季大会)
- 45) 久保川厚：再循環を伴う東向きジェットの西岸域からの侵入 (2010年9月8日、日本海洋学会秋季大会)
- 46) 石井大樹, 豊田威信：融解初期における海氷の構造特性の変化 (2010年9月9日、日本海洋学会秋季大会)
- 47) 中山佳洋, 大島慶一郎, 深町康：海氷と沿岸海洋の相互作用による海氷漂流強化機構 (2010年9月9日、日本海洋学会秋季大会)
- 48) 二橋創平, 大島慶一郎, 木村詞明：オホーツク海の熱塩フラックスデータセットの作成とそれを用いたブルーミング過程の推察 (2010年9月9日、日本海洋学会秋季大会)
- 49) 清水大輔, 小野純, 大島慶一郎, 内本圭亮, 三寺史夫：オホーツク海における海氷の粒子追跡実験(その2) (2010年9月9日、日本海洋学会秋季大会)
- 50) 江淵直人, 深町康, 大島慶一郎：宗谷暖流の流速の短周期変動の下流方向への伝播 (2010年9月9日、日本海洋学会秋季大会)
- 51) 中村知裕：オホーツク海を起源とする熱塩循環の概略説明 (2010年9月10日、2010年度日本海洋学会秋季大会)
- 52) 中野渡拓也, 三寺史夫, 中村知裕, 内本圭亮, 大島慶一郎：オホーツク海の熱塩循環とその北太平洋への影響 (2010年9月10日、2010年度日本海洋学会秋季大会)
- 53) 大島慶一郎, 中野渡拓也, 深町康, 若土正暁, 二橋創平, Riser, S. C.：オホーツク海の高氷が水塊形成・熱塩収支及びその変動に与えるインパクト (2010年9月10日、日本海洋学会秋季大会)
- 54) 中野渡拓也, 三寺史夫, 中村知裕, 内本圭亮, 大島慶一郎：オホーツク海中層水温の1050年規模変動：海氷・海洋結合モデルシミュレーション (2010年9月10日、日本海洋学会秋季大会)
- 55) 大島慶一郎, 深町康, 牛尾収輝, 橋田元, 青木茂, 清水大輔, 小野数也：海氷厚・南極底層水の係留系観測－温暖化で氷厚・底層水は変化しているか？－ (2010年9月15日、南極観測シンポジウム)
- 56) 島村誠, 下山宏, 根本征樹, 佐藤篤司, 渡辺力防風・防雪林の効果に関する野外観測 (2010年9月27日、雪氷研究大会)
- 57) 坂崎貴俊・藤原正智・Xiaoli Zhang・Maura Hagan・Jeffrey Forbes：全球再解析データを用いた対流圏－下部中間圏の大気潮汐の研究 (2010年10月27日、日本気

象学会 2010 年度秋季大会)

- 58) 森文洋・下山宏・森章一・新堀邦夫・渡辺力：PIV 法を用いた接地境界層における乱流構造の把握 (2010 年 10 月 27 日、日本気象学会 2010 年度秋季大会)
- 59) 谷本陽一：中緯度西岸域における大気海洋相互作用 (2010 年 10 月、日本気象学会 2010 年度秋季大会)
- 60) 長谷部文雄：熱帯対流圏界面を通じた物質交換 (2010 年 10 月 27 日、日本気象学会 2010 年秋季大会)
- 61) Sunmonu Ayanii, 金田祐介、藤吉康志：様々な地表面・大気条件下での水蒸気の水素・酸素安定同位体比の短時間変動特性 その (1) 札幌での 2009 年 5 月 1 日の観測事例 (2010 年 10 月 29 日、日本気象学会秋期大会)
- 62) 谷本陽一, 兼成智久, 時長宏樹, 謝尚平：黒潮・黒潮続流上の海上風非地衡流成分の解析 (2010 年 11 月、黒潮続流域での海面フラックスに関する研究集会)
- 63) Toyota, T., R. Massom, K. Tateyama, T. Tamura, A. Fraser : A case study of snow ice formation processes on the sea ice off East Antarctica in late winter (2010 年 11 月 30 日、第 33 回極域気水圏シンポジウム)
- 64) 中村知裕：アムチトカ海峡で観測された大振幅内部波とグローバル評価 (2010 年 11 月 30 日、潮汐混合とオホーツク海・ベーリング海の物理・化学・生物過程:白鳳丸 KH09-4 航海・おしよろ丸・クロモフ 2006/2007 シンセシス)
- 65) 中村知裕, 内本圭亮：オホーツク海物質循環モデリング (2010 年 12 月 1 日、潮汐混合とオホーツク海・ベーリング海の物理・化学・生物過程:白鳳丸 KH09-4 航海・おしよろ丸・クロモフ 2006/2007 シンセシス)
- 66) 嶋田啓資, 青木茂, 大島慶一郎：オーストラリアー南極海盆におけるアデリーランド底層水の変質 (2010 年 11 月 30 日、極域気水圏シンポジウム)
- 67) 豊田威信, Robert Massom, 舘山一孝, 田村岳史, Alexander Fraser: 晩冬季の東南極海海氷上における観測から推測される snow ice 形成の一過程 (2010 年 11 月 30 日、極域気水圏シンポジウム)
- 68)